

韓国で「労働放送局」を開局



10月20日、レイバーネット韓国は「インターネット労働放送」サービスを開始した。労働放送では、労働者の闘争と要求などに関するビデオやフィルムを提供する。この活動を通じて、国内の労働者の声、資本や権力に疎外された民衆の声を伝えるだけでなく、全世界的なニュースサービスも計画している。サービスのURLは、<http://cast.nodong.net>

労働放送局の開始にあたって
チャンチャンウォン
(韓国労働ネットワーク協議会運営委員長)

韓国労働ネットワーク協議会は、1998年11月14日、民主労総と韓国労総を含む16団体が主軸となって世界で何番目かのLaborNetの組織として発足しました。

その活動の中心としての役割を担ってきた民主労総、韓国労総と共に われわれ労働ネットは今、本格的な労働者メディア時代を牽引する「労働放送局」を作ろうとしています。労働ネットに参加する15団体にかわって心から祝いたいと思います。劣悪な労働現場の労働者たちと先進活動家にとって、労働者の現場の声を知らせ、民衆の叫び声を守る労働放送局の登場は 千軍万馬を得る大きな慶事です。

いまずぐに労働放送局は三星財閥の労働者監視追跡、盗聴、監聴などの反人倫的、非人間的な犯罪行為を広く知らせて、米国の醜悪なイラク侵略戦争の実像の公開と韓国軍撤収、世界の反戦平和運動の結集、非正規職労働運動と移住労働運動の平等権争奪のための宣伝と闘争、国家保安法撤廃と民族の平和的統一、労働組合内部の問題と限界点などを報道しなければなりません。

今や労働放送局は、労働者が率先して「もうひとつのメディア」の新時代を大きく咲かせるでしょう。喜びに満ちた心と力強い意志で、世界万国に労働ネットワークの労働者放送局の開始を宣言します。

ともに歩もう～日本からのメッセージ

私は、レイバーネット日本を代表し、韓国労働ネットの今までの支援と協力に感謝するとともに、韓国労働ネットが10月20日からインターネット労働放送を開局することを心からお祝い申し上げます。

韓国労働ネットは、インターネットを活用した労働者の情報発信基地として、労働者の声、差別された民衆の声を伝え、韓国の進歩的労働運動の発展のために大きな貢献をしてきました。今回開局されるインターネット労働放送は、映像を中心にさらにリアルな情報を伝えてくれることでしょう。

レイバーネット日本は2001年2月に設立されました。マスコミが取り上げない労働運動の情報や労働者の反戦運動の情報などを発信し、一定の役割を果たすウェブサイトになることができましたが、韓国労働ネットのように組織的な広がりを持つまでには至っていません。私達にとってインターネット放送を開局することは将来の目標でもあります。

私達は、アジアにおける労働運動のインターネットのネットワークづくりに韓国労働ネットとともに努力することを誓うとともに、今後とも韓国労働ネットとの連帯と協力を強めることを表明します。

インターネット労働放送の成功を祈念し、お祝いのメッセージとします。2004年10月20日

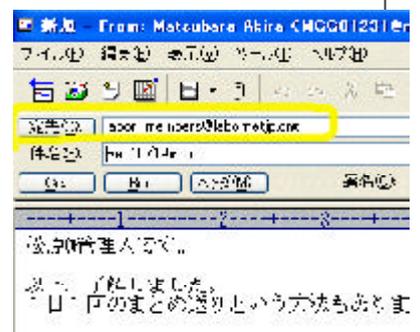
レイバーネット日本 代表 伊藤 彰信

インターネット・基本の基本 (5) メーリングリスト送信の仕方

「メーリングリスト」に情報を流したいがどうしたらいいか?という質問がよく来る。以前この欄で書いているが、大事なことなので繰り返す。あなたが普通にメールが送れるのなら、メーリングリストに送ることは「屁のクッパ」だ。普通にメールを出すときのように文章を打つ。そして送る時の「宛先」を labor-members@labornet.jp.org とするだけだ。この宛先に送信するとサーバーが自動的に参加者全員(約200名)に同報通信の形で送ってくれる。もちろん送った本人にも配信されるから、送られたことを確認できる。メーリングリストのメールは「件名」に [labor-members 数字] となっているから区別できる。

簡単でしょう! ぜひ一度、情報を流してみてください。メーリングリストで一番失敗しやすいことは、メーリングリストで届いたメールを自分だけに来た個人メールと勘違いして「返信」ボタンを押して返事を書いてしまうこと。本人はその個人に返事をしたつもりだが、実際には200人全員に配信されてしまうことになる。冷や汗をかく。二回三回、宛先をチェックするクセをつけたい。それさえ注意すれば、メーリングリストはとても楽しい。

(松原)



東京プログラム

<第一部> 映像メッセージ

(会場 / 中野勤労福祉会館)

14:00 「世界から日本から」フランス・アメリカ・韓国などの世界各地の最新映像が登場。

「3分ビデオ大集合」公募した3分ビデオ上映(制作者のトーク&ディスカッション)

<17時~18時> 休憩タイム

<第二部> 魅力ある労働運動を求めて

(会場 / なかのゼロ小ホール)

18:15 音楽 バイオリン演歌ショウ 佐原新月

18:40 マイケル・ムーア『ロジャー&ミー』上映(90分)

20:15 ミニシンポジウム「魅力ある労働運動って何?」映画を受けて元気なユニオンメンバーによる徹底討論!(パネル=木下昌明、鎌倉淑子、松浦望、モニカ)

21:15 終演(懇親会へ)

レイバーフェスタ 大阪でも準備進む

「映像を通して労働や生活を見つめ直そう」というスローガンで、大阪でもレイバーフェスタの準備が進められている。6月にはじめての実行委員会を開いて以来、毎月集まり、9月の会議で全体のプログラムと予算規模などが確定、10月のはじめにチラシが完成した。

「レイバーフェスタ2004大阪」と題して、日時は12月5日、13時から16時40分まで、クレオ大阪中央セミナー室でひらく。大阪市女性協会が後援してく

れることになった。

プログラムの目玉は、マイケル・ムーア監督の関西初公開作品「ザ・ビッグ・ワン」である。それと東京と連動しての3分間ビデオの公募。これは待っていても集まるかどうか心配なので、賛同団体のひとつの「市民メディアねっ

と」が主催する映像塾の参加者にビデオを作ってもらうことにした。現在、塾生が「給食労働」などを取材中である。

もうひとつの見ものは演劇「アンバランス」。女組合や泉州ユニオンなどの女性組合員たちで結成した「ユニオン座」が演じる。ある会社で非常勤労働者が解雇を言い渡され、悩んだ末に女性労働者が闘いに立ち上がるというストーリーである。

11月8日にはプレ・イベントとして、解雇、中国人研修生、パート・派遣労働など、労働問題をテーマにしたドキュメンタリー3本を上映する。エル大阪で18時から始めるので、関心のある人は来てほしい。

小山帥人(呼びかけ人)

げんこつまつりへようこそ!

品田 豊樹

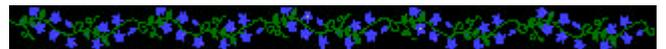
12月12日小金井市公会堂にて「第3回げんこつまつり~労働者の権利と平和のためのコンサート」が開催されます。今回はレイバーフェスタ2004参加企画として両実行委員会の相互協力が実現しました。第1回目のげんこつまつりは昨年12月に開かれましたが、構想は3年ほど前からありました。今回はなぜ労働運動の中で音楽イベントをやろうと考えたのかという点を、あくまで私の個人的な思いとして書いてみたいと思います。

労働組合の組織率が20%を切り同時に高齢化が進んでいるのは、既存の組合に新人が入らない、新規の組合が結成できないという事です。何故か?やはり若い人たちが労組に魅力を感じないからです。ではそれは何故か?一点目。労組が、正規雇用かつ中高年かつ男性中心の組合員の既得権を守るための存在になりつつあるから。二点目。労組もまた組織であるから、基本的に個として生きたい(時間的に空間的に)傾向の強い世代にはうっとおしい側面があるから。社員旅行にも組合旅行にも行きたくない人が増えていますよね。三点目。文化が貧困だから。昔はそれなりに、体制側の文化的統合や愚民化政策に対抗する文化運動があったと思います。それは、そ

の時々新しい感性や価値観をそれぞれが飛躍のように「敵」にぶつけるものでした。今、正規雇用かつ中高年かつ男性の労組役員・活動家が、組合旅行のカラオケで歌っている歌はなんでしょう?

げんこつまつりは、あくまでも労働組合という組織運動の枠にこだわりつつ、集会演説や論文の「私たち」という言葉では整理しきれない「私」の思いを大事にする試みです。ストレートな「私たち」の歌ではなく「私」の歌を歌い、「私」の歌を聴くことで、新しい「私たち」としてつながっていきたいと思います。そのことを通じて、わずかでも労働運動の活性化・流動化に役立っていきたいと思います。みなさん、来場して下さい!!

(げんこつまつり実行委員/全国一般東京労組)



アクセス 36万を突破

レイバーネット日本のアクセスは1日500をこえ、現在36万を突破しました。とくにイベントカレンダーの人气が高く、情報提供も増えています。今後もアクセス増が予想されますが、一方「重い」という不評もありました。こうした状況を改善すべく、今回新規サーバーを設置することにしました。よりスムーズなウェブサイトになると思います。

FBI がインディメディアのサーバを押収

10月7日18時(英国時刻)ごろ、米国の連邦捜査局(FBI)は、世界的なインターネット・メディアであるIndependent Media Center(以下IMC)のネットワーク・サーバのうち、英国で運用されているサーバを押収した。これにより、一時英国IMCが提供する20以上のサイトが接続不能になったが、現在、いくつかのサイトは復旧、もしくは臨時のサイトで運用を始めている。今回のサーバ押収捜索は、FBIの独自の捜査ではなく、相互司法援助協定(国際テロ、誘拐、マネーロンダリングなどに関する国際的な捜査協力の協定)に基づくイタリア政府およびスイス政府からFBIへの要請により、おこなわれたものだという。

IMC側は今回のサーバ押収は世界的な表現の自由を侵害する行為であると非難、すみやかにサーバを返還することを要求している。また、国際記者連盟(IFJ)は声明で、「国際警察による独立報道活動への耐えがたい横暴」「このような方法は、犯罪撲滅ではなく合法的なジャーナリズムへの脅迫」と非難している。

インディメディア・センターは、既存の商業ジャーナ

リズムから独立した国際的なインターネット・メディアで、反グローバル化運動と反戦運動で重要な役割を果たしてきた。今回FBIが行った弾圧は世界規模で表現の自由を侵害するものである。レイバーネット日本としても重大な関心をもっていきたい。

全国上映運動展開中!

会員が関わっている自主制作ドキュメンタリーの上映運動がさかんだ。

ひとつは『人らしく生きようパート2～新たな出発』(ビデオプレス)で、18年目を迎えた国労闘争団のたたかいと生活を追った作品。おおづめを迎える裁判闘争(鉄建公団訴訟)と歩調をあわせて、全国100ヶ所ちかくで上映運動が展開されている。上映日程は<http://www.vpress.jp>へ。

また『泥ウソとテント村』(小川町シネクラブ)は、廃寮をめぐる学生のフレッシュなたたかいぶりを描いている。とくに山形大学で起きた当局によるでっち上げ事件は怒りを呼ぶ。大学を中心に上映会が進み、山形大学を告発する裁判にも大きな影響を与えている。11/21東大駒場祭で上映。詳細は<http://www.doroten.net/>へ。

レイバーフェスタ2004 賛同人

個人

安並克麿(音楽家ユニオン)/西本敏子(神奈川県ユニオン)/松原明(ビデオプレス)/松浦望(NTT関連合同労組)/佐々木有美(ビデオプレス)/宇田正子/後藤道夫/新田進(小川町シネクラブ)/川中幸子(医学書院労組)/広浜綾子(出版労連・出版ネッツ)/岩崎松男(国労闘争団)/岩見崇/中山一郎/志真斗美恵(東京公務公共一般労組)/尾沢邦子/尾沢孝司/名古屋哲一(4.28ネット)/奥山貴重(郵政ユニオン)/宮内正義/杜海樹/河添誠(レイバーネット日本)/高幣真公(APWSL日本委員会)/安田幸弘(レイバーネット日本)/木下昌明(映画批評家)/半田耕二/石黒英男/出口礼子/矢島健一/松崎正人(立川・昭島・国立地域労組連合事務局長)/田中龍男(立川・昭島・国立地域労組連合)

団体

反リストラ産経労/ビデオプレス/神奈川県ユニオン/東京労働安全衛生センター/国鉄闘争共闘会議/鉄建公団訴訟原告団/オルタ・フォーラムQ/伝送便編集委員会/協同センター・労働情報/ワーカーズコープ・アスラン/小川町シネクラブ/国鉄千葉動力車労組/マブイ・シネコープ/ひょうたん島研究会/日本基督教団労組/オリジン電気労組/自治労公共サービス清掃労組/労働運動センター/ジャパンユニオン/東京東部労組/東京公務公共一般労組健全会夜間事務分会/郵政4.28ネット/JCA-NET/全日建連帯労組

(2004/10/27 現在)

あなたも賛同人になってフェスタを支えてください。賛同団体1口3,000円 個人1口1,000円 郵便振替レイバーフェスタ00120-8-314607

新しいサーバー導入のためにも 会費納入をお願いいたします!

現在、情報掲載をより効率的に進めるためにサーバー買い替えを検討しています。労働運動の情報ネットワークをさらに大きくするためにも財政確立が不可欠です。ぜひ会費を早急に納入していただきたくお願いいたします。ニュースレターに同封されている振込み用紙で会費(個人・団体とも年3,000円)を振り込んでください。なお、会員名簿の整理を事務局で進めている最中ということもあり、今回はお一人ずつに会費請求ができないことをお詫びいたします。(事務局)

レイバーネット日本の 会員になりませんか

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000円

郵便振替 00150-2-607244 レイバー

ネット日本

郵送宛先

〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403

レイバーネット日本事務局

入会申込用アドレス

apply@labornet.jp.org

電話 03-3530-8590

ファクス 03-3530-8578



(イラスト: 広浜綾子)